

## 第3回中国地区高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会山口大会

### 実 施 要 項

#### 1 目 的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて中国地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

#### 2 ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にできる心情を育て、あわせて、話す力・表現する力を高める。
- (2) 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- (3) 高校生活の中にうおいをもたらし、心のふれあいの場をつくる。
- (4) 現代社会における人としてのあり方・生き方を学ぶとともに、放送のはたす役割を考える。
- (5) 中国地区における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

#### 3 主 催 中国地区高等学校文化連盟 山口県高等学校文化連盟 広島県高等学校文化連盟

岡山県高等学校文化連盟 島根県高等学校文化連盟 鳥取県高等学校文化連盟

主 管 山口県高等学校文化連盟放送専門部

後 援

山口県教育委員会 中国新聞防長本社 朝日新聞社 NHK山口放送局

t y s テレビ山口 K R Y 山口放送 y a b 山口朝日放送

山口ケーブルビジョン株式会社 Kビジョン株式会社 エフエム山口

#### 4 大会日程

平成30年1月27日(土) 10:00 ~1月28日(日)14:30

#### 5 大会会場

防府市地域交流センター「アスピラート」

〒747-0036 防府市戎町1-1-28 TEL. (0835) 26-5151 FAX. (0835) 26-5111

#### 6 大会運営

第3回中国地区高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会広島大会実行委員会

会長 山口県高等学校文化連盟放送専門部会長 吉長 幸視

山口県立下松高等学校 〒744-0063 下松市若宮町12番1号

TEL (0833) 41-0157 FAX (0833) 41-3147

大会事務局

山口県高等学校文化連盟放送専門部

事務局長 馬木 明美

山口県立下松高等学校 〒744-0063 下松市若宮町12番1号

TEL (0833) 41-0157 FAX (0833) 41-3147

## 【大会日程等詳細案】

## 7 大会日程詳細

平成30年1月27日(土) 10:00 ~1月28日(日)14:30

日	時間	概要	会場
27 (土)	10:00~11:50	総合受付・出場者受付	3階ロビー
	10:30~11:30	運営委員会・審査委員会	3階控室1・2階展示ホール
	12:00~12:30	開会行事 ・開会のことば ・主催者挨拶 ・来賓祝辞 ・諸連絡	音楽ホール
	12:40~15:00	アナウンス部門予選	音楽ホール
	15:10~18:00	朗読部門予選	音楽ホール
	12:40~15:50	ビデオメッセージ部門	展示ホール
	12:40~15:40	オーディオビジュアル部門画像確認	練習室1
	16:00~18:00	オーディオビジュアル部門	展示ホール
	18:10~19:00	校内放送活動研究集会① (番組部門講評・朗読講座)	音楽ホール
28 (日)	9:05	決勝進出者発表	音楽ホール
	9:05~9:20	決勝出場受付	
	9:25~9:50	ビデオメッセージ部門決勝	音楽ホール
	9:50~10:10	オーディオビジュアル部門決勝	
	10:15~11:30	朗読部門決勝	
	11:30~12:20	アナウンス部門決勝	
	12:25~12:45	校内放送活動研究集会②(生徒交流会)	
		昼休憩	
	13:15~14:10	閉会行事 ・アナウンス・朗読部門講評 ・成績発表ならびに表彰 ・模範演技 ・主催者挨拶 ・閉会のことば	音楽ホール
	14:10~14:30	諸連絡・作品返却・原稿返却	3階ロビー
14:30~16:00	撤収作業		

## 8 コンテスト実施各部門ならびにエントリー数

部 門	エントリー数	模範演技
アナウンス	55名（各県10名以内、但し開催県15名以内）	3名
朗読	55名（各県10名以内、但し開催県15名以内）	3名
オーディオビジュアル	17校（各県3校以内、但し開催県5校以内）	
ビデオメッセージ	27校（各県5校以内、但し開催県7校以内）	

## 9 表 彰

部 門 賞	アナウンス	朗 読	オーディオビジュアル	ビデオメッセージ
優 勝	1名	1名	1校	1校
	優勝杯 中国地区高等学校文化連盟・山口県高等学校文化連盟賞状			
準優勝	1名	1名	1校	1校
	盾 中国地区高等学校文化連盟・山口県高等学校文化連盟賞状			
第3位	1名	1名	1校	2校
	盾 中国地区高等学校文化連盟・山口県高等学校文化連盟賞状			
優良	決勝進出者	決勝進出者		
	賞状			
奨励（全参加者）	全エントリー			
	賞状			

※ アナウンス朗読部門の決勝進出者については15名とする。但し決勝進出者に各県の1名が入っていない場合は、各県の予選最上位の生徒を決勝進出者に加える。

## 10 校内放送活動研究集会

各部門についての講評及び研修と山口県や中国地区各県高校放送部活動の報告などを実施し、文化交流を深める。内容については、記念講演等を含めて検討する。

## 11 各部門の課題・参加規定

## (1)アナウンス部門

- ① 自校や郷土のニュースや解説などを高校生に向けて発信する内容とし、原稿は自作したものに限定する。

※本大会で発表したアナウンス原稿については、NHK杯での発表は不可となります。

- ② 番号・氏名を含め1分30秒以内でアナウンスする。

## ③審査基準

(a) ①に沿った放送に使用する内容であること。

(b) 審査の視点

## i. 内容

(ア) 素材の選び方は適当であるか。

(イ) 文章表現は適当であるか。

## ii. アナウンスの技術

(ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える表現ができていないか。

・内容把握 ・イントネーション

・プロミネンス ・アクセント

(ウ) 間（ポーズ）は適切か

・テンポ ・ポーズ

(エ) 元気があり明るく演説するものは良いが、歌い上げ・作り声・バスガイド調などの不自然なアナウンスは高く評価しない。

(c) 採点…点数は100点法の1点刻みで採点する。

## (2)朗読部門

- ① 郷土（所属する学校のある都道府県内）にゆかりのある作家の作品、または郷土を舞台とした作品の中から原文のままを一部選んで原稿とし、発表してください。

- ② 番号・氏名・作者名・作品名を含め、2分00秒以内で朗読する。

## ③ 審査基準

(a) 審査の視点

## i. 内容

(ア) ①に沿って作品の選定は適当であるか。

(イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

## ii. 朗読の技術

(ア) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然

で適切か。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える表現ができていないか。

・内容把握 ・イントネーション

・プロミネンス ・アクセント

(ウ) 間（ポーズ）は適切か

・テンポ ・ポーズ

(エ) ラジオドラマ調、演劇調、一人芝居調などが過度に演出されているものは評価しない。

(b) 点数は100点法の1点刻みで採点する。

## (3)アナウンス・朗読に共通する事項

①原稿内容を所定のテキストデータで各校が作成し、作成したデータを各県の事務局が取りまとめ、1月5日（金）までに提出する。

②提出されたデータは返却しない。

③決勝では、各自の原稿の他に、課題原稿を加える。

## (4)オーディオピクチャー（AP）部門

① 郷土（所属する学校のある都道府県内）の話題を高校生に伝える内容の作品にしてください。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問いません。

② 作品は5分00秒以内とする。

③ ステレオ音声を主とし、デジタル静止画像（25画像以内）を併用できる。

④ デジタル静止画像の投影は発表校で行う

## ⑤ 審査基準

(a) ①に沿った内容であること。

(b) 審査の視点

## i. テーマ（伝えたい内容）

高校生ならではの視点でテーマを理解し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

## ii. 制作技術

(ア) メディアの選択は適切か (イ) 制作手法

(ウ) 取材の方法や努力 (エ) 企画・構成

(オ) 演出・編集 (カ) 内容伝達力

(キ) 音声や効果音、画像などの使い方

(c) 採点…点数は100点法の1点刻みで採点する。

## (5)ビデオメッセージ（VM）部門

① 郷土（所属する学校のある都道府県内）の話題を高校生に伝える内容の作品にしてください。ドキュメンタリー形式・ドラマ形式など手法は問わない。

- ② 作品は5分00秒以内とする。
- ③ 自校オリジナルのビデオ作品とする。
- ④ テレビ局等の第三者が撮影した素材が主である作品は失格とする。

#### ⑤ 審査基準

##### i. テーマ（伝えたい内容）

高校生ならではの視点でテーマを理解し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

##### ii. 制作技術

- (ア) メディアの選択は適切か (イ) 制作手法
- (ウ) 取材の方法や努力 (エ) 企画・構成
- (オ) 演出・編集 (カ) 内容伝達力
- (キ) 音声や効果音、映像の使い方
- (ク) 採点…点数は100点法の1点刻みで採点する。

#### (6) 番組部門の規格・提出について

##### ① オーディオピクチャー（AP）部門

- (ア) CD-Rによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル静止画像（25画像以内、総容量100MB以内）を併用する作品とする。
- (イ) 音声は、CD-R（音楽CD形式）に1作品分を1トラックに録音する。
- (ウ) デジタル静止画像は、JPEG形式で25画像以内とする。なお、パソコンからビデオプロジェクター1台を使用して投影するものとする。
- (エ) 静止画像のサイズは、WXGA（1366×768ピクセル）とする。
- (オ) 音声データ及びデジタル静止画像のデータは、それぞれ別のCD-Rで提出する。

##### ② ビデオメッセージ（VM）部門

- (ア) 作品は、DVD-R（DVD-Video形式、NTSC、アスペクト比4:3又は16:9）に録画して提出する。なお、BD-R（片面一層のみ記録、最大記録容量25GB）による提出も可とします。双方とも、市販の家庭用DVDプレーヤー又はBDプレーヤーで再生できることを確認してください。

※2008年3月までのパナソニックブルーレイレコーダーで録画するときは、再生互換性に十分留意してください。

- (イ) 作品本編の前後に10秒間の静止画によるテストパターン（形式は自由）を録画する。

#### ③ 共通事項

- (ア) 高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒に限る。

#### (イ) 台本・作品の提出日

所定の様式の台本1部と、ビデオメッセージは作品2枚、オーディオピクチャーは画像CDと音声CDを各2枚、各県事務局が取りまとめ1月5日（金）までに、提出する。

#### (ウ) 番組作品概要の提出日

番組作品概要を所定のデータ形式で各校が作成し、作成したデータを各県の事務局が取りまとめ、1月5日（金）までに提出する。

#### (7) 留意事項

- ① 著作物等に関して、権利者の許諾が必要な場合は、出場各校で必要な手続きをする。

#### ※著作権の処理に関して

「その対応に神経質になりすぎて番組制作の自由度を縛り、時間を浪費すること」は、本大会を開催する本意ではない。しかし、大きな時代の流れの中で、著作権を無視することはできないという現実もある。

著作権処理については、各校の責任において、「適切に処理」して参加すること。その目安としては、音楽・絵画・写真等、一般的に著作権が保護されるという概念が確立している著作物に対して、権利者の許諾を示す証拠書面を添付すること。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いるのが望ましい。

著作権処理が必要な著作物については、その一覧を台本及び原稿に添付して提出する。

- ② JASRACへの手続きおよび支払いは各校で行い、その書類の写しを台本に添付して提出する。
- ③ 各部門とも提出した原稿および作品は、NHK杯全国高校放送コンテストには参加できない。
- ④ 本コンテストの運営及び審査員は中国5県が協力して行う。

#### 12 参加資格

- ① 開催年の2月現在、中国各県の高等学校と高等専門学校、特別支援学校の高等部に在学する生徒（ただし最終学年を除く）、およびその生徒が制作した作品であること。
- ② 各部門への参加は、各県高等学校文化連盟の推薦によるものとする。
- ③ アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。
- ④ 番組部門への参加は、1校1作品とする。

ただし、各県大会までの参加は1校1作品に限定しない。また各県のエントリーが規定の推薦数に満たない場合は、1校2作品までの中国大会参加を認める。

### 13 各県からの推薦について

詳細は各県事務局宛連絡にてお知らせます。

- ①各県からの推薦は、HPからひな形をダウンロードし、必要事項を入力して、  
平成29年12月25日(木)17:00までにメールに添付して提出する。
- ②アナウンス・朗読原稿、番組作品概要のデータは、  
1月5日(金)17:00までにメールに添付して提出する。
- ③推薦には別紙のエントリー番号を使用する。
- ④申込みは、各県事務局が一括して本大会実行委員会事務局へ提出する。  
※学校・個人からの個別の受付はしない。

### 14 大会参加費および研修資料代、著作権に関する使用料他

- ①JASRACへの支払い手続きについて  
各校(各県)がそれぞれ支払いを行う。
- ②エントリー料

大会参加費および研修資料代として、全部門とも1名もしくは1作品につき3000円とする。納入は各県の事務局を通して県単位で一括納入する。

納入期限：12月27日(水)

口座番号：別紙事務局宛文書を参照

また、各県より大会運営負担金として、20,000円を納入する。

納入期日：平成29年8月2日(水)

全国高等学校総合文化祭理事会にて納入

### 15 エントリー以降の日程について

第3回中国地区高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会山口大会に関する情報提供については、下記のホームページを利用する。

[http://yamaguchi-koubunren.com/senmon\\_housou.html](http://yamaguchi-koubunren.com/senmon_housou.html)  
コンテスト関連情報

各県から寄せられるQ&Aも掲載するので、質問があれば、まずHPを確認する。

### 16 各県からの審査員・運営役員の派遣について

各県理事を通じて、各部門審査員及び運営委員の派遣を依頼する。快くお引き受けいただき、ご協力のほどよろしくお願ひします。

### 16 エントリー番号表【現在調整中】

	アナウンス部門	朗読部門	オーディオビジュアル部門	ビデオメッセージ部門
島根	4, 7, 12, 18, 23 29, 34, 40, 46, 51	4, 7, 12, 18, 23 29, 34, 40, 46, 51	1, 9, 12	1, 9, 16, 21, 24
鳥取	5, 8, 13, 19, 24, 30, 35, 41, 47, 52	5, 8, 13, 19, 24, 30, 35, 41, 47, 52	2, 8, 15	2, 10, 15, 18, 25
岡山	1, 10, 15, 21, 26 32, 37, 43, 48, 54	1, 10, 15, 21, 26 32, 37, 43, 48, 54	5, 7, 14	4, 8, 12, 20, 26
広島	2, 11, 16, 22, 27 33, 38, 44, 49, 55	2, 11, 16, 22, 27 33, 38, 44, 49, 55	4, 10, 16	5, 7, 13, 17, 23
山口	3, 6, 9, 14, 17 20, 25, 28, 31, 36 39, 42, 45, 50, 53	3, 6, 9, 14, 17 20, 25, 28, 31, 36 39, 42, 45, 50, 53	3, 6, 11, 13, 17	3, 6, 11, 14 19, 22, 27
合計	55名	55名	17校	27校